

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	MTX/5-FU交代療法
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	胃がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	G-16
登録日・更新日	2008年10月22日
削除日	
出典	メソトレキセート添付文書
入力者	安室 修

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名	規格	投与量算出式	ルート	投与時間	施行日
No.1	メソトレキセート	5mg、50mg	100mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	全開	Day1
	生理食塩液	50mL				
No.2	5-FU	250mg	600mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input type="checkbox"/> IVHポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	全開	Day1
	生理食塩液	50mL				

1コースの期間	7日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	
前投薬	<ul style="list-style-type: none"> ・グラニセロン3mg ・500mLの補液あたり17~34mEqの炭酸水素ナトリウム(7%メイロン20mL1~2管/補液500mL)をメソトレキセート投与前日からロイコボリン救援投与終了まで継続投与する。 ・アセタゾラミド250~500mg/日をメソトレキセート投与前日からロイコボリンの救援投与終了まで経口又は静脈内投与する。
その他の注意事項	<p>5-FUはMTXの3時間後から開始する。</p> <p>【ロイコボリン救援について】 MTX投与後24時間目よりロイコボリンとして1回15mgを6時間間隔で2~6回(MTX投与後24、30、36、42、48、54時間目)静脈内又は筋肉内注射あるいは経口投与する。 MTXによると思われる重篤な副作用があらわれた場合には、用量を増加し、投与期間を延長する。</p>

記入者	安室 修
確認者	大山 優